

とんだ仕事納めになりました！

年末年始輸送、気持ちよく送り出すどころか、 フレッシャーを与え続ける管理者

皆さん、年末年始輸送ご苦労様でした！

1年が終ろうとしていた12月30日、早め出勤をした東海労組合員が準備を終えて昼食のために食堂に行きました。組合員が食事をしていると、管理者が近寄ってきて出勤時刻を確認し、「労働時間中の食事を現認」と騒ぎ立て、「時系列を書いてもらいます」と通告されました。

多くの乗務員は、準備時間が足りないため早め出勤をしています。また、通勤時間や出先の折り返し時間を考慮すると食事のとり方にも気を使っています。この職場の現実の中で起きた食堂の光景を想像すると、いたたまれなくなりませんか？

組合員もそうですが、他の乗務員も準備時間や食事を考えて早めに出勤して、準備を終えてから食事をするがありますが、今までこのように言われたことはないと思います。

31日組合員が無事今年最後の乗務を終え帰所すると、「G長」から「退出後、面談をやる」と伝えられ、点呼後は管理者2名からの事情聴取となりました。そこで管理者は「事実関係の確認を」と言ってきましたが、自らが「労働時間中の食事を現認」と騒ぎ立てているのですから「事実関係」の確認もへったくれもありません。さらに、時系列と私の対策の強要もしてきました。組合員は、時系列も対策も断りました。しかし、これは「事実関係」をこと更に大きくするための言い掛かりで、何とか「不祥事」にしたいだけなのです。

皆さんは早め出勤の後はどうしていますか？最初にするのは出勤点呼で、次は乗務のための準備、そして余裕を持っての洋服やコーヒーだったり食事ではないでしょうか。全ては所定の準備時間では足りないから自らの時間を提供して…。

あ～、気持ちよく仕事したいですね！

【 訂正とお詫び 1月1日付の「とうにうん」が 第15号 となっていましたが「第16号」が正当です 】